

中国四川大地震の現地調査記録

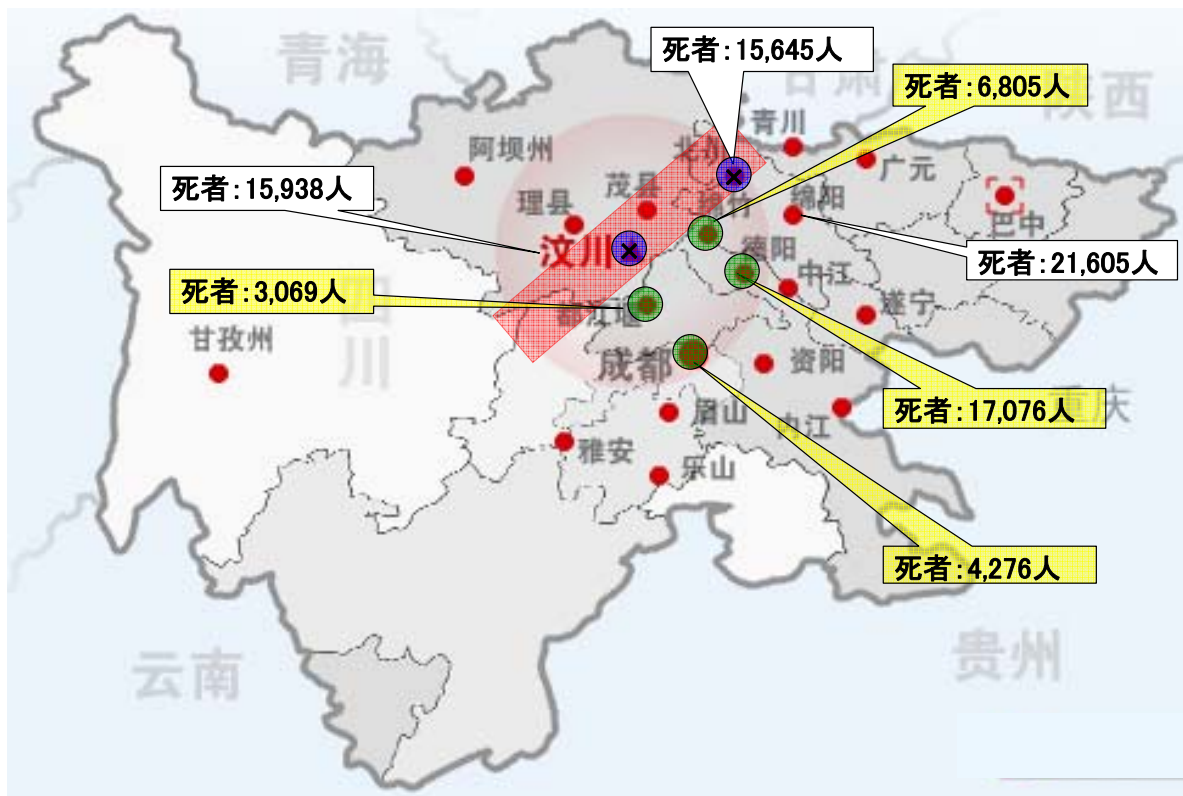
1 調査目的

2008年5月12日午後2時28分（現地時間）ごろ、中国四川省でM8.0の地震が発生した。この地震による人的、物的被害は甚大で（東海・東南海・南海地震に匹敵する）、あわせて69,197名の死者、18,340名の行方不明者と374,176名の負傷者をもたらした（7月18日現在）。地震発生から2ヶ月が経った時点で、被災地はどのような状況にあるのか、を調べるとともに、現状の問題点を把握することを主目的とする。

2 調査期間

2008年7月14～18日

3 調査地域



（現地調査を行った地域を黄色枠で示す）

4 調査活動の記録

7月15日（現地時間で表記） 綿竹市、徳陽市

08：30 高速道路を利用し、綿竹市漢旺鎮に向け出発

道沿いに避難生活用のテント（写真1）や建設中の仮設住宅（写真2）が並んでいる

崩壊した農家住宅がみられるようになる（写真3）



写真1 道沿いの避難テント



写真2 建設中の仮設住宅



写真3 2階建ての農家住宅



左の全壊住宅の持ち主が今後の生活について不安を訴えている

12：30 漢旺鎮 「東方汽輪機厂（発電設備を生産する会社名）」の付近到着、甚大な被害がみられる（写真4～写真11）

＊ 「東方汽輪機厂」は今回の地震で最も大きな被害を被った企業の一つであり、漢旺にある工場の80%が被害をうけ、500名以上の職員が犠牲となった。直接的な経済被害は約50億元（850億円）だと推計されている。（人民日報 2008年6月12日）



写真4 2階建ての建物の床スラブの落下(1階は道路に面した店舗であり、2階は住居とみられる)



写真5 同左建物のレンガ壁の崩落、ひび割れ



写真6 同上建物の柱頭部の被害



写真7 建物全体が崩落した現場



写真8 大きく傾斜した建物



写真9 写真4～8の現場付近にある古建築の様子(軽微な被害)



写真10 6階建ての金融ビルの壁のひび割れ



写真11 7階建て商業ビルの壁のひび割れ、仕上げ材の剥落

13 : 10 徳陽市に向けて出発

道路沿いに長い列の避難生活用のテントが並んでいる (写真 12, 13)



写真 1 2 道沿いのテント



写真 1 3 避難生活の様子

14 : 20 徳陽市に到着、市中心部では大きな被害が見当たらない

16 : 00 一部損壊がみられる徳陽市ある小学校(2004年に建て替え)(写真 14、写真 15)



写真 1 4 徳陽市衡山路小学校



写真 1 5 一部損害箇所の様子

7 月 16 日 (成都) 市街地

15 : 00 歴史遺跡の「武侯祠」(三国志で蜀の丞相諸葛孔明と劉備玄德の祠堂^{しどう})への訪問 (写真 16、写真 17)

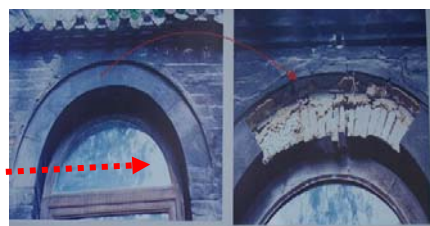
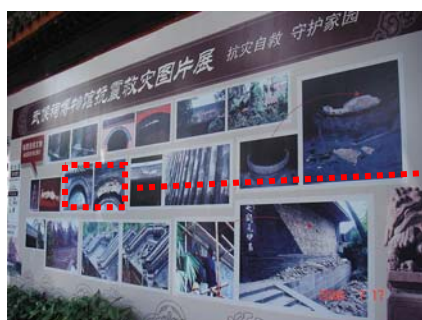


写真 1 6 入り口で地震による被害を示す写真が展示されている
(7 月 1 6 日現在一部修復済み)

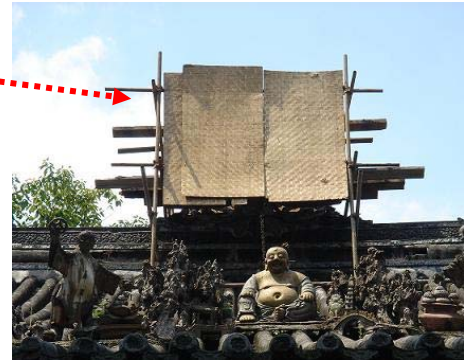


写真17 修復中の文化財

7月17日 都江堰市

8:00 高速道路を利用し、成都市西北の郊外にある都江堰市に向け出発
緊急車両の専用道路が設けられている（写真18）



「应急救援车辆除外」
の標識

写真18 緊急車両の専用道路

9:30 都江堰市内に入り、建物の被害がみられる（写真19～写真23）
応急期対応活動がみられる（写真24～写真27）



写真19 5階建ての商業ビルと
みられる建物(1階部分は使用中)



写真20 3階建ての公共施設と
みられる建物の崩壊



写真 2 1 「都江堰水務」(水処理、河川などの水利事業の管理等を行う行政機関の事務所) の被害状況



写真 2 2 3 階建ての宿舎とみられる建物の被害状況



写真 2 3 5 階建ての宿舎の被害状況 (全階ベランダの壁が崩落)



写真 2 3 の被害箇所拡大



使用可能



危険

写真 2 4
建物危険性の応急判定結果



写真 2 5 衛生、防疫関係の政府職員による巡視検査



写真 2 6 (国家二級甲等病院の前) 無料の診療サービス



写真 2 7 地元住民が中心となってガレキ処理を行っている

11：30 古代水利施設として世界文化遺産に登録された「都江堰」に到着
迅速な修復作業がみられるが、未だに未着手の状態の被害箇所も数多くみられる（写真 28～写真 31）

都江堰正門の付近、テントでの避難生活を送っている住民が多数みられる（写真 32～写真 33）



写真 28 都江堰の全貌を眺める
最適の場所「泰堰楼」の被害



写真 29 修復中の「南橋」（都江
堰の「水上画楼」と呼ばれている
名所）

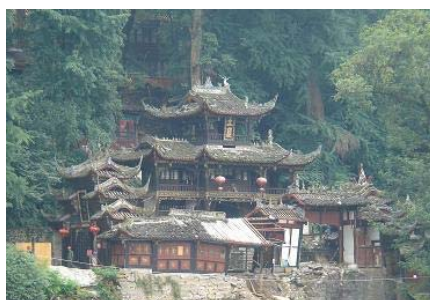


写真 30 観光名所「二王廟」（都
江堰水利工程の建設者李冰父子を
記念するために造られた）の被害
（今も立ち入り禁止の状態）



写真 31 古代建築屋根の被害



写真 32 都江堰の付近、多くの
住民がテントの中で避難生活を送
っている



写真 33 住民が避難しているテ
ントの付近、中国赤十字などの救
援組織が駐在している

14 : 30 「聚源中学」 付近に到着 (写真 34～写真 37)



写真 3 4 2 階立ての建物(1 階は
店舗、2 階は住居と思われる)



写真 3 5 建物内部の被害状況
(左側写真の拡大)



写真 3 6 2 階の住居部分が崩落



写真 3 7 多くの生徒が犠牲とな
った被害現場